

船橋市市民活動サポートセンターだより

— 防災をキーワードに、 人と地域をつなぐ20年 —

SL災害ボランティアネットワーク・船橋 代表 ^{ひらたちえ} 平田千重さん

しみんりょく 2026年8月号は、9月の「防災月間」に向けて、「防災特集」をお届けします！
1面には、セーフティリーダー（Safety Leader：以下“SL”）として船橋を中心に活動し、「SL災害ボランティアネットワーク船橋」の代表である平田千重さんのインタビューをご紹介します。団体の活動内容や、20年にわたり活動を継続してきたポイントについてお話を伺いました。



2026年に「SL災害ボランティアネットワーク・船橋」（略称：SL船橋）は結成20周年を迎えます。

今でこそ「防災活動」は広く知られるようになりましたが、同団体が活動を始めた20年前は、地域防災があまり根付いていない状態からのスタートだったそうです。

初代代表の片桐卓（かたぎりたかし）さんは、「イベントや講座に全力で取り組み、それが実績となり、次への信用と信頼につながる」と会員に伝えてきたそうで、同団体の活動の根幹を担う考え方として受け継がれていったといいます。

活動を続ける中で、10年ほど前には「団体の俗人化」（リーダーが去った後団体が立ち行かなくなること）が危惧されたそうです。組織が大きくなれば個人の力ではなく、組織として体制を整える必要があると平田さんは語ります。そこで、講座や活動の見える化（情報発信力）、そして定例会や学習会の充実などの組織改革に取り組み、現在では50名が会員となり、年間で100件近い講座やイベントの依頼を受けるまでになったそうです。

インタビュー中で平田さんは「諸先輩が積み上げてくださった信用と実績の上に、“今の活動がある”」と語り、これまでの活動の思いを大切に繋ごうとしている姿がうかがえます。現在はさまざまな分野で活動する会員が集まり、「防災」をキーワードに分野を超えた他団体と連携し、さらに活動の幅を広げていきたいと平田さんは意気込みを語ってくれました。

持続可能な
団体運営の
ポイント

① 脱“俗人化”



② ヨコのつながり



③ 柔軟性



④ 活動の見える化





特集

防災特集



船橋市内では、様々な分野で多くの団体や個人の方が市民活動やボランティア活動に取り組んでいます。
今回は、防災の分野で活躍する団体や個人の方にお話を聞きました！

SL災害ボランティアネットワーク・船橋

災害救援ボランティア講座を履修し認定されたセーフティーリーダー（通称：SL）で組織され船橋・習志野・鎌ケ谷を中心に活動しています。公民館、社会福祉協議会、町会等で防災講座や訓練などを企画、運営しており、いざという時に動けるよう日頃から災害に備えて、準備しておくことの大切さを伝えています。



【塚田小学校で実施した防災講座の様子】



【法典フェアでの防災体験会の様子】

防災ミニ知識

災害が起きたら、避難所に行くと思っている方も多いかと思います。

しかし、避難所に行くのは、①自宅が全半壊した人、②津波で自宅が流されてしまった人、③火災で自宅をなくしてしまった人です。つまり、自宅が無事であれば、ライフラインが途絶えても自宅で暮らす「在宅避難」を前提とした備えを考えましょう。

備えは3種類①外出中に被災して帰宅困難になった場合のもの、②避難所に行くためのリュック、③自宅で暮らすための備え、それぞれ準備しましょう。

避難所に行くのは

- ① 家屋が全半壊してそこに住めない
- ② 津波等で浸水した場合
- ③ 火災が近づいている場合



**それ以外の人は避難所へ行かなくても
自宅で暮らしていただけます**

個人の備え

外出時に災害に
会うことだってある！



防災ポーチ

いつも持ち歩く**バッグに入れておくもの**
一晩耐えられる最低限のもの

非常持出品

避難所に行くときに**持っていくもの**
家族の分は別々に



自宅の備蓄

避難所に行かず
自宅で暮らす場合の備え



法典地区自治会連合会 防災委員会 委員長 吉野 嘉一さんにお話を聞きました！

芸能関係のお仕事をしていた吉野さんは、働いている時は地域の活動には関心が無かったそうですが、マンションの自治会長になったことをきっかけに法典地区自治会連合会にも携わり、現在も地域のために活動されています。

好奇心が強く、色々な人と知り合うことが好きと語る吉野さんですが、防災士として地域ケア会議にも参加し、多職種からなる構成員とも連携をして、“高齢者を見守る”まちづくりをしているとのことでした。

コロナ禍で薄れてしまった地域の関係性を取り戻したいという思いで活動をされており、「地域防災に関心がない方にも興味を持ってもらうために、様々な機会を設けて発信していく必要がある」と語る吉野さんは、各町会で実施している活動にも足を運び、お互いの関係性を築いていくことを大事にされていました。



防災委員のモチベーションを
上げるためユニホームを
作成されたそうです！

市内企業の社会貢献活動紹介

今回は

石井食品株式会社

「日本一、生産者と地域に貢献する食品会社になる」をビジョンに掲げ、食を通じた社会課題の解決や社会貢献活動に力を入れています。防災・非常食に関しても、「誰もがいつでも安心して笑顔で食べられる社会を作る」というコンセプトのもと、多様な取り組みを推進されています。

社会貢献活動とは

企業の社会的責任 (corporate social responsibility) といわれ、企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動です。

「被災地での支援活動」

食品メーカーとして「食からのアプローチ」を大事にし、食づくりを通じた社会課題の解決に積極的に取り組んでいます。

これまで物資供給で被災地への支援に取り組んできましたが、2024年1月には初めて防災士である職員を被災地に派遣し、物資供給や避難所でのサポートなどの支援を行いました。

被災地支援だけでなくViridianで講座を実施したり、防災イベントに講師として参加するなど、実際に災害が起きたときのためにどのような対応をしたらよいか、平時の備えなどを伝える講座も実施しています。また、普段と違う環境でも安心して食べられるよう、子どもへの配慮や食物アレルギーの配慮、常温品の強化にも取り組んでいます。これらの取り組みにより、平時・発災時関係なく食を豊かにし、人の気持ちを優しくできるよう会社全体で取り組んでいます。



「被災地で支援活動をされた

佐々木 淳さんにお話を聞きました！」



2023年の12月に入社した佐々木さんですが、主な業務内容は「非常食の営業」と「災害時の被災地支援」でした。入社して1か月後の2024年1月には、能登半島地震の被災地へ赴き、子ども用の食品が足りていないという要請があったため、子どもでも美味しく食べられる食事を届けるため被災地に赴かれました。物資の供給だけでなく半壊した家屋の修繕や避難所のお風呂作りなど、被災者の方々のために幅広い活動をされたそうです。

「心構えはできていたが会社として被災地に赴くのは初めてだったので正直不安はあった」と語る佐々木さんですが、人を助けたいという思いが強く、皆さんが安心して過ごせるよう活動されたとのことでした。

Viridian(ヴィリジアン)のご紹介

Viridianは、石井食品本社1階にある地域コミュニティの拠点です。

カフェや直売に加え、地元農家のマルシェ、行政・福祉団体との共創イベント、食育や健康支援を展開。子どもから大人までが食を通じてつながり、安心して過ごせる「地域の居場所」として、新しい食文化を育んでいます。

【店舗情報】〒273-8601 千葉県船橋市本町2-7-17

総武線船橋駅南口徒歩10分

営業時間・お休みはブログをご参照ください。



市民活動ボランティア スタートアップ **参加者募集**

船橋市 市民活動ボランティアスタートアップとは？

市民活動やボランティアを始めてみたい！という方がボランティアの募集情報を探しやすいよう、市民活動団体をはじめ、町会・自治会、船橋市が募集しているボランティア情報を「ふなばし市民力発見サイト」内に集約をしました。興味のある活動を探し、是非参加してみてください！

参加方法

ふなばし市民力発見サイト（右コード）の「ボランティア募集ページ」に各団体が募集情報を掲載しています。申込方法等は団体により異なりますので、ご確認のうえお申込みください。



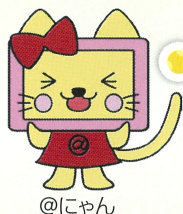
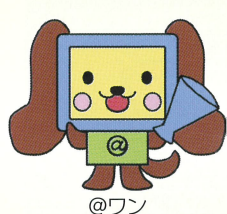
ボランティア活動証明書を発行します！

市民活動やボランティア活動に参加された方には活動証明書を発行しています。

対象者：以下①②に該当する方

- ①市内在住または在勤・在学の方
- ②【証明書対象】と表記のある活動に参加された方

申請方法：活動参加後、3か月以内に活動報告書を市民協働課に提出



活動を始めようにゃん

市民活動サポートセンターで お悩み相談してみませんか？

「ボランティアを始めたい」「地域の人とつながりたい」
「団体運営を改善したい」「活動を始めたい」など、
市民活動に関するお悩みをお気軽にご相談ください！

相談員
齋木



出勤予定は、市ホームページ（二次元コード）をご確認ください。

市民活動サポートセンター 運営協議会Xアカウント

市民活動・ボランティアに関する
『旬』な情報を発信しています！



ふなばし市民力発見サイト“BLOG”

本紙「しみんりょく」の制作風景や、
各種イベントの裏側など、サポート
センター運営協議会の面々がブログ
に投稿中。登録団体であれば、どな
たでもブログ機能を利用可能です。
是非、日々の活動をご紹介します！



編集・発行：船橋市市民活動サポートセンター運営協議会

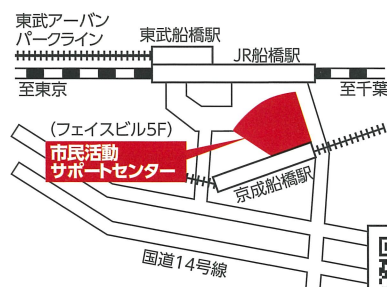
【市民活動サポートセンター】

〒273-0005 船橋市本町1-3-1 フェスビル5階
TEL (FAX) : 047-423-3483 (3436)
開館：月～土曜日 午前9時～午後9時
日曜日・祝休日 午前9時～午後5時
休館：12月29日～翌年1月3日

【事務局】船橋市 市民協働課

TEL : 047-436-3201 FAX : 047-436-3063 E-mail : shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp

センターに関する
最新情報はこちら
ふなばし市民力発見
サイトにリンク



《市民活動サポートセンター》や《しみんりょく》についてのご意見をお待ちしております